

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社中外 (仮称)春日井工場新築工事	階数	地上2F
建設地	愛知県春日井市明知町西ノ洞 1213番6他	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条地域	平均居住人員	30人
気候区分	6地域	年間使用時間	6,570時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年5月 予定	評価の実施日	2016年8月19日
敷地面積	30,314 m ²	作成者	榎大林組 名古屋支店
建築面積	9,738 m ²	確認日	2016年8月22日
延床面積	12,086 m ²	確認者	榎大林組 名古屋支店



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE=1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境 温熱環境 光・視環境 空気環境

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性 耐用性 対応性

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

生物環境 まちなみ 地域性

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

水資源 非再生材料の 汚染物質

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 重点項目	
<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p>3.6</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p>1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>31.4 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p>3.3</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p>1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3-1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2-2 耐用性・信頼性、Q-2-3 対応性・更新性

LR-2-2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3-1 生物環境の保全と創出

④地域材の活用

Q-3-2 まちなみ・景観の配慮 4)地域性のある素材による良好な景観形成

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積} - \text{附属物面積}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$



スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	
Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音								
1.2 遮音								
1		開口部遮音性能		-	-	5.0	-	-
2		界壁遮音性能		-	-	4.0	-	-
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	4.0	-	-
4		界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	4.0	-	-
1.3 吸音								
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
1		室温		-	-	3.0	-	-
2		外皮性能		-	-	3.0	-	-
3		ゾーン別制御性		-	-	-	-	-
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
1		昼光率		-	-	5.0	-	-
2		方位別開口		-	-	3.0	-	-
3		昼光利用設備		-	-	5.0	-	-
3.2 グレア対策								
1		昼光制御		-	-	4.0	-	-
3.3 照度								
3.4 照明制御								
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
1		化学汚染物質		-	-	5.0	-	-
2		アスベスト対策		-	-	-	-	-
4.2 換気								
1		換気量		-	-	3.0	-	-
2		自然換気性能		-	-	4.0	-	-
3		取り入れ外気への配慮		-	-	3.0	-	-
4.3 運用管理								
1		CO ₂ の監視		-	-	-	-	-
2		喫煙の制御		-	-	-	-	-
Q2 サービス性能								
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ								
1		広さ・収納性		-	-	5.0	-	-
2		高度情報通信設備対応		-	-	4.0	-	-
3		バリアフリー計画	独自	-	-	-	-	-
1.2 心理性・快適性								
1		広さ感・景観		-	-	4.0	-	-
2		リフレッシュスペース		-	-	-	-	-
3		内装計画		-	-	-	-	-
1.3 維持管理								
1		維持管理に配慮した設計		-	-	-	-	-
2		維持管理用機能の確保		-	-	-	-	-
3		衛生管理業務		-	-	-	-	-
2 耐用性・信頼性								
2.1 耐震・免震								
1		耐震性		3.0	0.48	-	-	-
2		免震・制振性能		3.0	0.80	-	-	-
3		耐震・制振性能		3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数								
1		躯体材料の耐用年数		3.0	0.33	-	-	-
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔	②	2.0	0.23	-	-	-
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-	-
4		空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-	-
5		空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.15	-	-	-
6		主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	-
2.4 信頼性								
1		空調・換気設備		2.8	0.19	-	-	-
2		給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	-
3		電気設備	②	2.0	0.20	-	-	-
4		機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
5		通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性								
3.1 空間のゆとり								
1		階高のゆとり		4.6	0.31	-	-	-
2		空間の形状・自由さ		5.0	0.60	4.0	-	-
3.2 荷重のゆとり								
3.3 設備の更新性								
1		空調配管の更新性		4.0	0.40	3.0	-	-
2		給排水管の更新性		3.0	0.31	-	-	-
3		電気配線の更新性		3.0	0.38	-	-	-
4		通信配線の更新性		3.0	0.17	-	-	-
5		設備機器の更新性		3.0	0.11	-	-	-
6		バックアップスペースの確保		3.0	0.22	-	-	-

給水VLP、排水VVP、消火SGP

階高 1階=7.29m、2階=6.49m
壁長さ比率=0.29

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	
Q3 室外環境(敷地内)								
1 生物環境の保全と創出	独自③			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	独自④			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮								
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	独自④			2.5	0.30	-	-	2.5
3.2 敷地内温熱環境の向上				2.0	0.50	-	-	-
				3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性								
LR1 エネルギー								
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.71		4.0	-	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.28	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化								
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEI _m =0.64		4.0	1.00	-	-	-
集合住宅の評価(3c)				-	-	-	-	-
4 効率的運用								
集合住宅以外の評価				3.0	0.29	-	-	3.0
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価				-	-	-	-	-
4.1 モニタリング				3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制				3.0	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル								
1 水資源確保								
1.1 節水		自動水栓、節水型便器の採用		3.4	0.15	-	-	3.4
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				4.0	0.40	-	-	-
				3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減								
2.1 材料使用量の削減				3.8	0.63	-	-	3.8
2.2 既存建築躯体等の継続使用				2.0	0.07	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.25	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	② 独自		ビニル床シート、タイル、ロックウール化粧吸音板	3.0	0.21	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				5.0	0.21	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	独自		LGs下地、OAフロアの採用	5.0	0.25	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避								
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.22	-	-	3.0
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.32	-	-	-
				3.0	0.68	-	-	-
1 消火剤				-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境								
1 地球温暖化への配慮								
1 地球温暖化への配慮	①	ライフサイクルCO2概算値:83%		3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮								
2.1 大気汚染防止				3.0	0.33	-	-	3.0
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.25	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.50	-	-	-
1 雨水排水負荷低減	独自			3.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制	独自			3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制	独自	駐車スペース、荷捌き用車両スペースの確保		4.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮								
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.33	-	-	3.0
1 騒音	独自			3.0	0.40	-	-	-
2 振動	独自			3.0	0.50	-	-	-
3 悪臭				-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制				3.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2014年版+あいち版手引き

株式会社中外 (仮称)春日井工場新築工事

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.6
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.6	0.10	
② 資源の有効活用				3.3
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.8	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17	外構緑化:31.4%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 株式会社中外 (仮称) 春E

計画上の配慮事項	
総合	省エネ、省資源、緑化に可能な限り取り組むとともに、耐用性や空間のゆとりなどサービス性にも配慮した計画としている。
Q1 室内環境	評価対象外
Q2 サービス性能	耐用年数の長い配管材料を採用している。 また、高さや広さ等ゆとりある空間を確保している。
Q3 室外環境(敷地内)	敷地内の緑化を図る。
LR1 エネルギー	LED照明、高効率空調等の省エネ性の高い設備機器を採用している。
LR2 資源・マテリアル	節水便器や自動水栓の採用、リサイクル建材の使用等、省資源に配慮している。
LR3 敷地外環境	敷地内はじゅうぶんな空地を確保し、駐車スペースや荷捌きスペースを設ける等、地域や周辺の環境に配慮している。
その他	